

こんなことから火事がおきる

近年、住宅火災で亡くられた方の多くは「65歳以上の高齢者」です。

- 多くのかけがえのない命が住宅火災で失われています。
- 特に高齢者の死亡率が高くなっています。
- 火事はちょっとした気のゆるみから発生することが多くあります。
- 火の取扱いには十分注意し、日ごろから「火の用心」に取り組みましょう。

コンロ

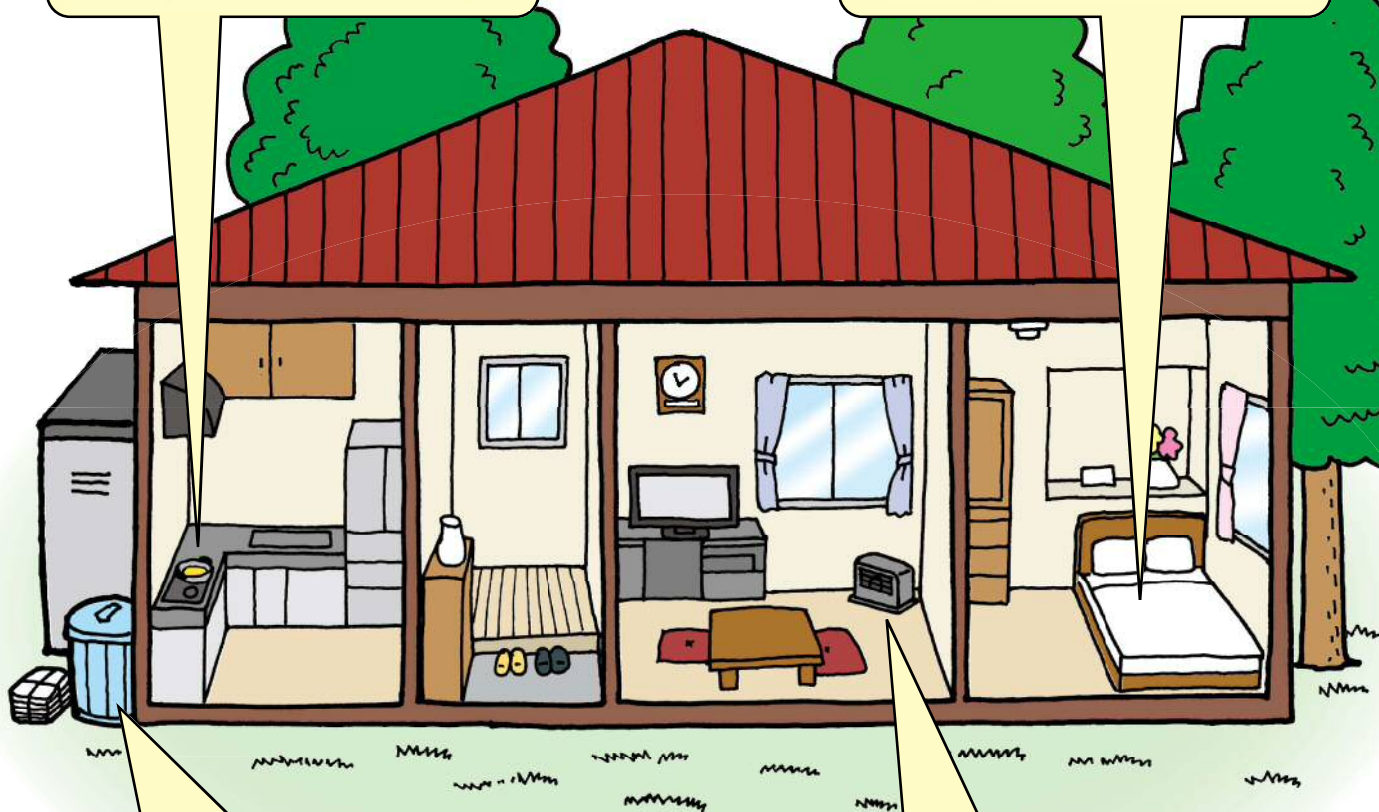


2ページ参照

たばこ



3ページ参照



放火



5ページ参照

ストーブ



4ページ参照

こんなことから火事がおきる

コンロ おもな原因

1 コンロのまわりに
燃えやすい物を
置いていた。



2 鍋をコンロに掛けたまま、
洗濯・電話など他のことを
していた。



コンロでの火事を防ぐための注意!

- コンロから離れる時は少しの間であっても、必ず火を消す。
- コンロのまわりを整理整頓し、燃えやすい物を置かない。
- ふきこぼれや鍋を加熱しすぎた時に、ガスを自動的に止める安全装置のついたコンロを使う。

ダメ!!



万が一火が燃えだしたら、絶対に水をかけない!

消火器がない場合の 消火方法

- ・火を止めて蓋をする。
- ・水で濡らして絞った大きめのタオルなどをかぶせる。

【火災予防についての動画はこちらから】



＜消すぞう君とコンロ実験＞

北九州市消防局 YouTube

検索

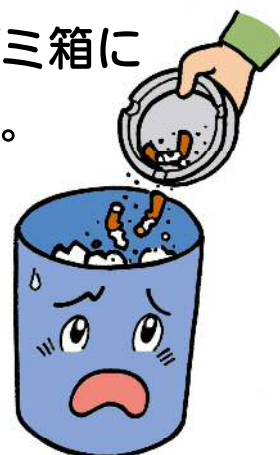


たばこ おもな原因

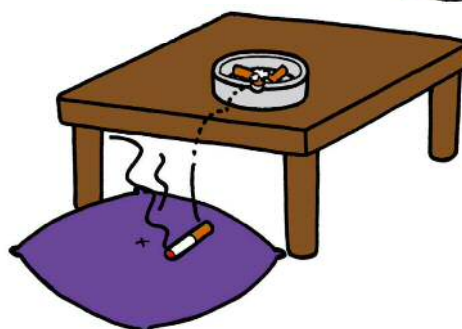
1 寝たばこをしていた。



2 吸いがらを
直接ゴミ箱に
捨てた。



3 たばこの火が座布団
などに落ちた。



たばこによる火事を防ぐための注意!

- 寝たばこは絶対にしない。
- 灰皿のないところでは喫煙しない。
- 灰皿は底が平らな安定したものに、水を入れて使う。
- 吸い殻は水で濡らし、直接ゴミ箱に捨てない。



【火災予防についての動画はこちらから】



＜消すぞう君とたばこ火災＞

北九州市消防局 YouTube

検索

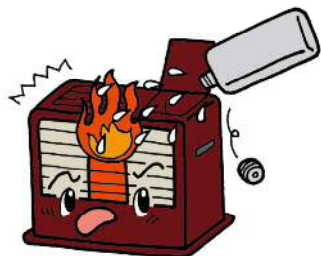


こんなことから火事がおきる

ストーブ おもな原因

電気ストーブも石油ストーブと同様に、使い方によっては火事になる場合があります。

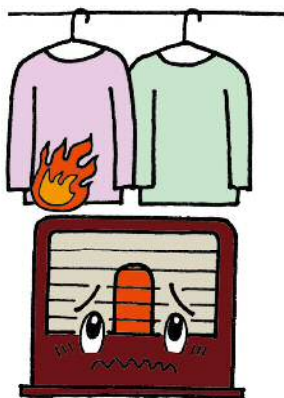
- 1** 火をつけたまま給油しようとしたが、カートリッジタンクの蓋がきちんと閉まっていなかった。



- 2** ふとんやカーテンの近くでストーブを使っていた。



- 3** ストーブの上に洗濯物を干していた。

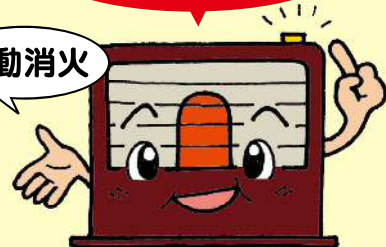


ストーブによる火事を防ぐための注意!

- 火をつけたまま給油しない。(完全に火が消えたことを確認する)
- カートリッジタンクの蓋は、確実に閉める。
- 燃えやすいものから遠ざけて使用し、寝るときは消す。
- 地震や給油の時、自動的に火を消す安全装置のついたストーブを使う。

安全装置付ストーブ

自動消火



【火災予防についての動画はこちらから】



＜電気ストーブの取り扱いに注意＞

北九州市消防局 YouTube

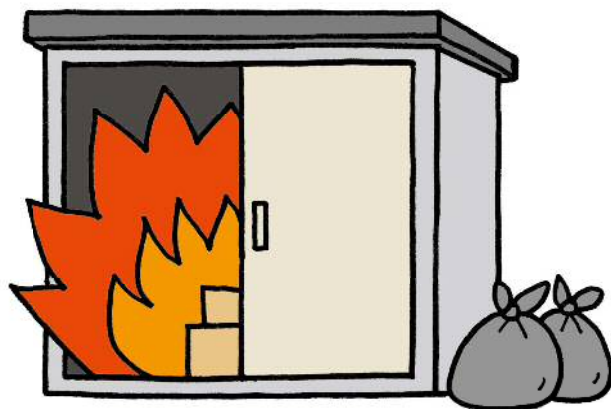
検索



放火 おもな原因

1 家の軒下・玄関先に
ゴミなどを置いていた。

2 物置や車庫などの戸締
まりをしていなかった。



放火を防ぐための注意!

- 家のまわりは整理整頓し、新聞紙や段ボールなど燃えやすい物を置かない。
- 物置や車庫などの戸締まりを確実に行う。
- ゴミは指定日の朝、決められた時間までに出す。
- 夜はライトをつけて、家の周りを明るくする。
- 隣近所でお互いに放火されない様、日頃から声をかけあう。



【放火マップで放火の状況を知ろう!!】



市内で発生した放火火災(過去5年)について、放火された場所をホームページ上に掲載しています。身近な場所でも放火が発生していることを確認して下さい。

放火マップ 北九州市

検索

